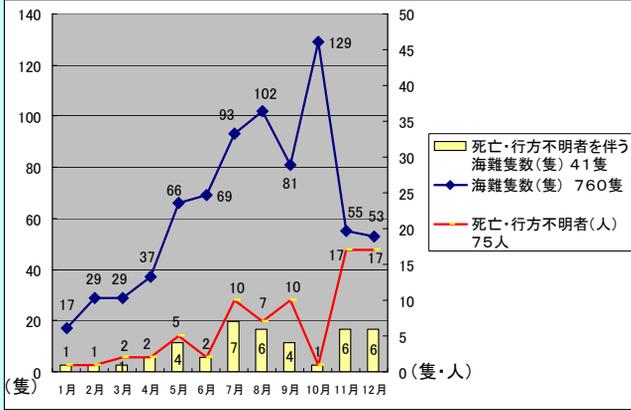
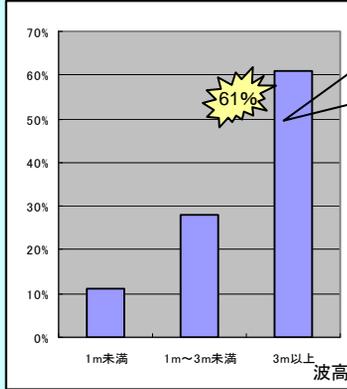


**予想外の突風や強風に遭い、危うい状況に陥ったことはありませんか。
季節風や発達した低気圧で強風が吹く時期を迎えます。**

過去5年（H16～20）の北海道周辺の海難発生状況



10～12月における転覆・浸水海難発生状況（過去5年）



波高3m以上で海難が急増する傾向にあります。波高3mの時の平均風速は、一般的に約10m/s以上といわれております。

秋から冬にかけて

- ◆日本海側
1週間前後の周期で吹き出す北西寄りの季節風
- ◆太平洋側
季節風又は発達した低気圧により北北東又は西寄りの強風
このために波が高くなります。

痛い海難

H16 貨物船 11月12日、翌朝の入港待ちのため石狩湾港沖合いに錨泊していましたが、深夜、当直者が走錨に気付き、船位確保のため双錨泊等を試みましたが、強風に圧流され、防波堤消波ブロックに衝突・乗揚げ乗組員16名中7名が死亡しました。この時、風速23m/s、波高3mで海上暴風警報が発令されていました。

★ **安全な航海のためには気象の変化を常に把握しなければなりません。携帯電話、ラジオなどにより最新の気象情報を収集し、無理をしない判断が必要です。** ★

海上保安庁が行っている気象情報提供(MICS)

灯台など全国125箇所で観測した気象の現況をいろいろな方法で提供しています。

- * 携帯電話・インターネット
携帯電話 <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/m/> アドレスは総合入口サイト
インターネット <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/> "
- 全国の海上保安(監)部等70箇所で運用しており、観測箇所における風向、風速、気圧などの情報を30分毎に提供しています。その他、海上工事情報や灯台からの映像なども提供しています。
- * 一般電話(テレフォンサービス)
観測箇所における風向、風速、気圧などの情報を30分毎に提供しています。
- * 無線電話(ラジオ放送) 1670.5kHz中短波放送
全国29箇所から通報しており、観測箇所における風向、風速、気圧などの情報を1時間毎に提供しています。



携帯電話用QRコード

(事例) 苫小牧港沖において走錨船の海難回避

平成21年1月19日午前1時ころ、荒天のため錨泊船の走錨監視の強化を実施していたところ、貨物船(総トン数:744トン)が徐々に風下へ移動するのを確認しました。

AISメッセージにより注意喚起及びVHFでの喚呼を繰り返し実施しましたが、依然として同方向へ流されていたため船船電話で注意喚起を実施した結果、貨物船は転錨し海難を回避しました。

なお、後に確認したところ、当直者が見張り不十分であることが判明したため、錨泊中の適正な保船について厳重に指導しました。



AIS搭載船舶へお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報、航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (3) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (4) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで
TEL 0134-27-0118
(内線2615、2623)